

シラバスを参照したい科目をクリックしてください。

[戻る](#)

タイトル	開講所属	時間割コード	授業科目名			主担当 教員	対象年次	学期	曜日・ 校時	開講期間
2013年度 シラバス (教養教育 科目)	教養教育-教 養教育 全学 モジュール I 科目-03 安全で安心 できる社会	20130586013702	●安全で安心 できる社会 I (健康と医 療の安全・安 心)	和	E	浜田 久 之	1年,2年,3年,4年	後期	火 2	～
2013年度 シラバス (教養教育 科目)	教養教育-教 養教育 全学 モジュール I 科目-03 安全で安心 できる社会	20130586014102	●安全で安心 できる社会 I (リスク社 会と社会科 学)	和	E	薛 軍	1年,2年,3年,4年	後期	火 1	～
2013年度 シラバス (教養教育 科目)	教養教育-教 養教育 全学 モジュール I 科目-03 安全で安心 できる社会	20130586014502	●安全で安心 できる社会 I (科学と技 術の安全・安 心)	和	E	林 秀千 人	1年,2年,3年,4年	後期	月 2	～

[戻る](#)

タイトル「**2013年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 全学モジュールⅠ科目-03 安全で安心できる社会**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	火2																				
開講期間																							
必修選択	選択	単位数	2.0																				
時間割コード	20130586013702	科目番号	05860137																				
授業科目名	●安全で安心できる社会Ⅰ(健康と医療の安全・安心)																						
編集担当教員	浜田 久之																						
授業担当教員名(科目責任者)	浜田 久之																						
授業担当教員名(オムニバス科目等)	浜田 久之, 菊池 泰樹, 池田 通, 金子 高士																						
科目分類	全学モジュールⅠ科目																						
対象年次	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態	講義科目																				
教室	[教養A棟]A-33																						
対象学生(クラス等)	教育学部、経済学部、薬学部、水産学部																						
担当教員Eメールアドレス	浜田久之: hhamada@nagasaki-u.ac.jp																						
担当教員研究室	浜田久之 長崎大学病院医療教育開発センター																						
担当教員TEL	浜田久之 095-819-7847																						
担当教員オフィスアワー	浜田久之 8:45-17:30																						
授業のねらい	健康を維持するために日ごろ意識することが何か、医療とのかかわりを正しく理解するために必要な考え方を身につける。また、健康で安心した生活を送るために医療はどのようなかかわりを果たすのかを自ら考え、取り組む意識を育てる。																						
授業方法(学習指導法)	基本的に講義形式とする。 内容により参加型の討論形式などを行う。																						
授業到達目標	①健康と医療に関する日本のヘルスケアシステムを知る。 ②自身の健康増進のために何をすべきかを自覚する。 ③様々な疾病の一般的な知識を獲得する。 ④グローバルな視点で医療を考えることができる。																						
授業内容	<table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>10/1 世界における日本の医療システムについて説明し、日本の医療について考える。[長崎大学病院 医療教育開発センター 浜田]</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>10/8 健康維持や生活習慣病予防について考える(循環器疾患を中心に。)[長崎大学病院 医療教育開発センター 浜田]</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>10/15 健康維持や生活習慣病予防について考える(消化器疾患を中心に。)[長崎大学病院 医療教育開発センター 浜田]</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>10/22 現代社会における口腔管理の必要性 [歯学部 池田]</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>10/29 歯と骨の疾患の深い関係 [歯学部 池田]</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>11/5 種々の歯周疾患の病態、病因について理解し、歯周病の予防について考える。[歯学部 金子]</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>11/12 噛むことの意義と全身の健康との関わりについて考える。[歯学部 金子]</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>11/19 歯周疾患と全身疾患の関連性について考える。[歯学部 金子]</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>11/26 インターネットの落とし穴 [保健学科 菊池]</td> </tr> </tbody> </table>			回	内容	1	10/1 世界における日本の医療システムについて説明し、日本の医療について考える。[長崎大学病院 医療教育開発センター 浜田]	2	10/8 健康維持や生活習慣病予防について考える(循環器疾患を中心に。)[長崎大学病院 医療教育開発センター 浜田]	3	10/15 健康維持や生活習慣病予防について考える(消化器疾患を中心に。)[長崎大学病院 医療教育開発センター 浜田]	4	10/22 現代社会における口腔管理の必要性 [歯学部 池田]	5	10/29 歯と骨の疾患の深い関係 [歯学部 池田]	6	11/5 種々の歯周疾患の病態、病因について理解し、歯周病の予防について考える。[歯学部 金子]	7	11/12 噛むことの意義と全身の健康との関わりについて考える。[歯学部 金子]	8	11/19 歯周疾患と全身疾患の関連性について考える。[歯学部 金子]	9	11/26 インターネットの落とし穴 [保健学科 菊池]
回	内容																						
1	10/1 世界における日本の医療システムについて説明し、日本の医療について考える。[長崎大学病院 医療教育開発センター 浜田]																						
2	10/8 健康維持や生活習慣病予防について考える(循環器疾患を中心に。)[長崎大学病院 医療教育開発センター 浜田]																						
3	10/15 健康維持や生活習慣病予防について考える(消化器疾患を中心に。)[長崎大学病院 医療教育開発センター 浜田]																						
4	10/22 現代社会における口腔管理の必要性 [歯学部 池田]																						
5	10/29 歯と骨の疾患の深い関係 [歯学部 池田]																						
6	11/5 種々の歯周疾患の病態、病因について理解し、歯周病の予防について考える。[歯学部 金子]																						
7	11/12 噛むことの意義と全身の健康との関わりについて考える。[歯学部 金子]																						
8	11/19 歯周疾患と全身疾患の関連性について考える。[歯学部 金子]																						
9	11/26 インターネットの落とし穴 [保健学科 菊池]																						

	10	12/3 インターネットセキュリティー 1 [保健学科 菊池]
	11	12/10 インターネットセキュリティー 2 [保健学科 菊池]
	12	12/17 インターネットセキュリティー 3 [保健学科 菊池]
	13	12/24 海外旅行で病気にならない方法 (予防接種を中心に) [長崎大学病院 医療教育開発センター 浜田]
	14	1/7 海外旅行から元気に生きて帰ってくる方法 (グループ学習) [長崎大学病院 医療教育開発センター 浜田]
	15	1/14 海外旅行のリスク (実際の事例から) [長崎大学病院 医療教育開発センター 浜田]
	16	
キーワード	医療システム 健康増進 様々な疾病	
教科書・教材・参考書		
成績評価の方法・基準等	出席時に毎回、テーマに関する考察 (200字~400字) を提出し、これを10点とする。100点以上を合格とする。90点以下は不合格。	
受講要件 (履修条件)	特になし	
本科目の位置づけ		
学習・教育目標	将来的に自分や家族が安心して暮らしてゆくために、どのような医療システムが良いのか、また自分自身で何ができるのか考えて行動に移すことが学習目標である。	
備考 (URL)		
備考 (準備学習等)	日頃より医療に関する新聞・TVニュース等に注目すること。	



タイトル「**2013年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 全学モジュールⅠ科目-03 安全で安心できる社会**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	火1																										
開講期間																													
必修選択	選択	単位数	2.0																										
時間割コード	20130586014102	科目番号	05860141																										
授業科目名	●安全で安心できる社会Ⅰ(リスク社会と社会科学)																												
編集担当教員	薛 軍																												
授業担当教員名(科目責任者)	薛 軍																												
授業担当教員名(オムニバス科目等)	薛 軍																												
科目分類	全学モジュールⅠ科目																												
対象年次	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態	講義科目																										
教室	[教養A棟]A-33																												
対象学生(クラス等)																													
担当教員Eメールアドレス	setu2008@nagasaki-u.ac.jp																												
担当教員研究室	経済学部本館6F																												
担当教員TEL	095-820-6322																												
担当教員オフィスアワー	研究室在室中の時に、いつでも対応する																												
授業のねらい	本講義では、リスクというキーワードを念頭にして、経済社会、特に日本の海外市場での取り込みについての理解を深めてもらいます。																												
授業方法(学習指導法)	講義形式中心に行いますが、第6回、10回、14回講義時にそれぞれのグループ討論会とのシミュレーションゲームを行います。																												
授業到達目標	本授業は、単なるリスク論または経済知識の習得にとどまらず、学生諸君が自ら考える授業を目指します。特に、経済社会でのリスク分散への解決策について学生諸君が自分の言葉で語るようにすることを到達目標とします。そのために、学生の思考力と文章力を訓練によって向上させたいとも考えています。																												
授業内容	<table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>ガイダンス</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>経済社会とリスク論</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>リスクと経済成長の罫(1)</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>リスクと経済成長の罫(2)</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>リスクと経済成長の罫(3)</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>シミュレーションゲーム(1)</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>資本市場とリスクヘッジ(1)</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>資本市場とリスクヘッジ(2)</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>資本市場とリスクヘッジ(3)</td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>シミュレーションゲーム(2)</td> </tr> <tr> <td>11</td> <td>企業海外進出とリスクヘッジ(1)</td> </tr> <tr> <td>12</td> <td>企業海外進出とリスクヘッジ(2)</td> </tr> </tbody> </table>			回	内容	1	ガイダンス	2	経済社会とリスク論	3	リスクと経済成長の罫(1)	4	リスクと経済成長の罫(2)	5	リスクと経済成長の罫(3)	6	シミュレーションゲーム(1)	7	資本市場とリスクヘッジ(1)	8	資本市場とリスクヘッジ(2)	9	資本市場とリスクヘッジ(3)	10	シミュレーションゲーム(2)	11	企業海外進出とリスクヘッジ(1)	12	企業海外進出とリスクヘッジ(2)
回	内容																												
1	ガイダンス																												
2	経済社会とリスク論																												
3	リスクと経済成長の罫(1)																												
4	リスクと経済成長の罫(2)																												
5	リスクと経済成長の罫(3)																												
6	シミュレーションゲーム(1)																												
7	資本市場とリスクヘッジ(1)																												
8	資本市場とリスクヘッジ(2)																												
9	資本市場とリスクヘッジ(3)																												
10	シミュレーションゲーム(2)																												
11	企業海外進出とリスクヘッジ(1)																												
12	企業海外進出とリスクヘッジ(2)																												

	13	企業海外進出とリスクヘッジ (3)
	14	シミュレーションゲーム (3)
	15	総括 (1)
	16	総括 (2)
キーワード	リスクヘッジ、経済のグローバリゼーション	
教科書・教材・参考書	参考書 橘木俊詔等集編『経済から見たリスク リスク学入門2』(岩波書店、2007) 薛軍『在中國の経営現地化問題—多国籍企業現地化論の再検討—』(日本創成社、2010)	
成績評価の方法・基準等	出席・発言 (35%)、末期レポート (65%)	
受講要件 (履修条件)	経済学に好奇心ある学生が望ましい。	
本科目の位置づけ		
学習・教育目標		
備考 (URL)		
備考 (準備学習等)		



タイトル「**2013年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 全学モジュールⅠ科目-03 安全で安心できる社会**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	月2
開講期間			
必修選択	選択	単位数	2.0
時間割コード	20130586014502	科目番号	05860145
授業科目名	●安全で安心できる社会Ⅰ(科学と技術の安全・安心)		
編集担当教員	林 秀千人		
授業担当教員名(科目責任者)	林 秀千人		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	林 秀千人, 高橋 和雄, 田中 俊幸, 久保 隆		
科目分類	全学モジュールⅠ科目		
対象年次	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態	講義科目
教室	[教養A棟]A-33		
対象学生(クラス等)	教育学部, 経済学部, 薬学部, 水産学部		
担当教員Eメールアドレス	hidechto@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	工学部流体エネルギー工学研究室		
担当教員TEL	095-819-2516		
担当教員オフィスアワー	月から金8時から8時30分		
授業のねらい	危険や不安に、どう考え、何をなすべきか、どのように対処するのかを学び、危険や不安のない安全・安心な社会の構築に貢献しうる知識と理解を涵養する		
授業方法(学習指導法)	基本的な事項について、抗議により学習をする。さらに、テーマをもとに、みんなで安全・安心について考えて意識を高める。		
授業到達目標	安全・安心な社会を構築するためには、目指すべき安全で安心できる社会のイメージを明確にすることが必要です。安全は、普段は見過ごし危険や事故に遭遇したときに意識するものですが、普段の取り組みが重要となります。 本授業では、安全とは何か、安心とは何かについて、「災害・事故からの社会システムの安全・安心(科学と技術の安全・安心)」の観点から、自ら努力をして維持することが重要であることを認識するとともに、日常意識をどのように保てばいいのか、自らが考えることで安全・安心が実現できることを理解を深める		
授業内容	人間が安全で快適な生活を送るために、科学技術の発展が図られてきた。一方で、個人などでは処理できないさまざまなシステムが働いている。その中で、安全を維持し安心を図るために必要な基本的な考え方を習得するとともに、組織の中で個人が取り組む安全・安心の意識を育てる。 第1回 安全と安心の基本的な考え方について 第2回 災害とリスクマネジメントについて 第3回 安全文化について 社会では様々な事故が発生し、貴い命が失われることも多い。そのような事故が起こらないように安全を確保することが重要である。そのためには何が重要かを事故の事例とその原因を考えながら学習する。 第4回から第7回 自然災害と安全・安心 ・長崎の豪雨災害をはじめ、これまで発生した災害を教訓に日本各地で防災の都市づくりが進められている。国や自治体レベルで行われている施策を学び、さらに災害が起こったときの備えについて学習する。 第8回から第11回		

	化学物質の安全・安心 ・身のまわりのさまざまな物質に関して、安全を確保するための規制や法律等さまざまな考え方をもとに、安全への取り組みを紹介し、安全安心を考える。する。 第11回から第15回 電磁波がもたらす影響について ・身のまわりに生じている電磁波を中心に、目に見えないものが身体へ及ぼす影響について、安全をどうとらえ、安全安心へどのように取り組まれているかを紹介し、安全安心を考える。
キーワード	科学技術の安全、システムの安全と安心、安全文化と安心
教科書・教材・参考書	安全・安心工学入門（古今書院）、必要に応じて資料を配布する。
成績評価の方法・基準等	数回のレポートにより評価
受講要件（履修条件）	
本科目の位置づけ	
学習・教育目標	
備考（URL）	
備考（準備学習等）	

